【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成20年9月18日(2008.9.18)

【公表番号】特表2008-509247(P2008-509247A)
【公表日】平成20年3月27日(2008.3.27)
【年通号数】公開・登録公報2008-012
【出願番号】特願2007-524887(P2007-524887)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｇ　18/00　　　(2006.01)
Ｃ０８Ｊ　　9/14　　　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ 101/00　　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｇ　18/00　　　　　Ｆ
Ｃ０８Ｊ　　9/14　　ＣＦＦ
Ｃ０８Ｇ 101:00

【手続補正書】
【提出日】平成20年7月29日(2008.7.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも１の触媒と、少なくとも１の発泡剤および少なくとも１の酸とを合することを含み、ここに少なくとも１の発泡剤は水以外のものであることを特徴とする、ポリウレタンフォームを形成するための成分組成物中で触媒の活性を保持する方法。
【請求項２】
触媒を酸と独立して添加する請求項１記載の方法。
【請求項３】
触媒がアミン触媒を含む請求項１記載の方法。
【請求項４】
酸が有機酸を含む請求項１記載の方法。
【請求項５】
発泡剤がアルキルアルカノエートを含む請求項１記載の方法。
【請求項６】
アルキルアルカノエートがギ酸メチルを含む請求項５記載の方法。
【請求項７】
酸がギ酸を含む請求項６記載の方法。
【請求項８】
発泡剤がアルキルアルカノエートである請求項１記載の方法。
【請求項９】
アルキルアルカノエートがギ酸メチルである請求項８記載の方法。
【請求項１０】
酸がギ酸である請求項９記載の方法。
【請求項１１】
酸が触媒のモル当量の1重量%ないし500重量％存在する請求項１記載の方法。
【請求項１２】

酸が触媒のモル当量の10%ないし400%存在する請求項１１記載の方法。
【請求項１３】
酸が触媒のモル当量の50%ないし300%存在する請求項１２記載の方法。
【請求項１４】
少なくとも１の触媒；
　少なくとも１の発泡剤；および
　少なくとも１の酸を含み、
ここに少なくとも１の発泡剤が水以外のものであることを特徴とするポリウレタンフォームを製造することにおいて触媒の活性を保持するための成分。
【請求項１５】
少なくとも１のアミン触媒；
　少なくとも１のアルキルアルカノエート；および
　少なくとも１の有機酸
を含む、ポリウレタンフォームを製造することにおいて触媒の活性を保持するための成分。
【請求項１６】
触媒を酸と独立して添加する請求項１５記載の成分。
【請求項１７】
アルキルアルカノエートがギ酸メチルである請求項１５記載の成分。
【請求項１８】
有機酸がギ酸である請求項１７記載の成分。
【請求項１９】
酸が、アミン触媒のモル当量の1重量%ないし500重量％存在する請求項１４または１５記載の成分。
【請求項２０】
酸が、アミン触媒のモル当量の10%ないし400%存在する請求項１９記載の成分。
【請求項２１】
酸が、アミン触媒のモル当量の50%ないし300%存在する請求項２０記載の成分。
【請求項２２】
請求項１８記載の方法に従って製造した第１の成分を調製し；ついで
　第１の成分と第２の成分とを混合し、第２の成分は少なくとも１のポリオールを含み、
ここにポリウレタンフォームが形成される
方法に従って製造したポリウレタンフォーム。
【請求項２３】
触媒を酸と独立して添加する請求項２２記載のフォーム。
【請求項２４】
触媒がアミン触媒を含む請求項２２記載のフォーム。
【請求項２５】
酸が有機酸を含む請求項２２記載のフォーム。
【請求項２６】
発泡剤がアルキルアルカノエートを含む請求項２２記載のフォーム。
【請求項２７】
アルキルアルカノエートがギ酸メチルを含む請求項２６記載のフォーム。
【請求項２８】
有機酸がギ酸を含む請求項２７記載のフォーム。
【請求項２９】
発泡剤がアルキルアルカノエートである請求項２２記載のフォーム。
【請求項３０】
アルキルアルカノエートがギ酸メチルである請求項２９記載のフォーム。
【請求項３１】

有機酸がギ酸である請求項３０記載のフォーム。
【請求項３２】
有機酸がアミン触媒のモル当量の1ないし500重量％存在する請求項２２記載のフォーム。
【請求項３３】
酸がアミン触媒のモル当量の10ないし400％存在する請求項３２記載のフォーム。
【請求項３４】
酸がアミン触媒のモル当量の50ないし300％存在する請求項３３記載のフォーム。